

新型コロナウイルスに向き合う産官学民の共創プラットフォーム

#おたがいハマ を横浜市として支援します

OTAGAISAMA YOKOHAMA

横浜市は、このたび、**特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザインラボ**（代表理事：杉浦 裕樹）及び、**一般社団法人 YOKOHAMA リビングラボサポートオフィス**（代表理事：河原 勇輝）と協定を締結し、両団体が構築・運営する**新型コロナウイルス感染症に対応する共創プラットフォーム『#おたがいハマ』**（以下「本プラットフォーム」といいます。）を**支援することとしました。**

新型コロナウイルス感染症については、感染がまだまだ拡大しており、予断を許さない状況です。感染拡大の収束も見通せず、かつて経験したことのない様々な問題が広がりを見せる中、**公民の幅広い主体が知恵を出し合い、課題解決を進めていくことが重要です。**

こうした取組の一つとして、横浜市として、本プラットフォームを積極的に支援し、**産官学民の多様な主体の参画により、様々な形で新型コロナウイルス感染症への対応を進めていきます。**

【#おたがいハマ WEB ページ】※記者発表と同時に公表

<http://otagaihama.localgood.yokohama>

<コンテンツ>

- ① 新型コロナウイルス感染症に関する行政情報の発信
- ② 横浜市内の飲食店のテイクアウトやデリバリーの紹介「#横濱おうち飯店」
- ③ 地域循環型社会を考え行動する WEB フォーラム「Circular Yokohama 2020」の開催
- ④ SNS を活用した横浜市民のオンラインコミュニティの形成（※準備中）



1 経緯

- 新型コロナウイルス感染症への対応を、産官学民の連携により取り組んでいくための基盤・仕組みを構想していた**特定非営利活動法人 横浜コミュニティデザインラボ**及び**一般社団法人 YOKOHAMA リビングラボサポートオフィス**の2者から、本プラットフォームを横浜市とも連携しながら推進していきたい旨、ご提案いただきました。
- 横浜市としても、本プラットフォームの推進を通じて、新型コロナウイルス感染症による社会的・経済的な影響に対してオール横浜で取り組み、オープンイノベーションによる課題解決を目指していくため、連携協定を締結し、本プラットフォームを支援する運びになりました。

2 連携の特徴

- 新型コロナウイルス感染症の影響が進行する中で、公的機関の最新情報の共有や、民間企業・団体の創意工夫や取組の共有・推進を通じて、横浜の様々な人々がお互いを助け合いながら参画できる社会づくりを志向
- 横浜市内に本拠地を置き活動する民間企業・団体が中心となった地域発意型のプラットフォームとの連携を通じた、公共性の高い取組への支援
- 産官学民の多様な主体による連携を目指し、官民のデータや知見を活用した連携を推進

3 主な取組内容（本プラットフォームがもつ3つのコンセプトへの関わり）

① 伝える（行政情報の提供）

本プラットフォーム WEB サイトでは、新型コロナウイルス感染症に関する最新の行政情報がまとめられています。本市もオープンデータによる情報提供を通じて、より広く市民の皆様への情報発信を行います。

② つながる（対話の場や交流の機会の創出）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を避けるための配慮や工夫を凝らしながらも、オンライン等で、市内各地の多様な主体が対話・交流ができる場（Circular Yokohama 2020、リビングラボ（※）等）づくりへの支援を行い、オープンイノベーションのためのコミュニケーションを推進します。

※ 「リビングラボ」とは

身近な地域の課題をテーマとして、住民を中心に様々な知見を有する企業、大学等と連携して課題解決のための対話を行う場です。参加者の現状認識の共有化のため、官民データを活用して課題の可視化を進めながら、自由にアイデアを出し合うことで、新たな解決策を見出していくことが期待されています。

③ 変える（公民連携事業への協力）

プラットフォームから創発される様々な取組のうち、特に公共性・公益性が高く公民連携により実現を目指すものについては、本市の公民連携窓口である「共創フロント」がコーディネーター・アドバイザーとして関わり、その実現を共に目指します。

<先行した取組例>

#横濱おうち飯店

市内の飲食店のテイクアウト・デリバリー情報をまとめて紹介するページです。各種民間情報に加え、オープンデータ化された本市経済局が集約している店舗の情報も活用します。

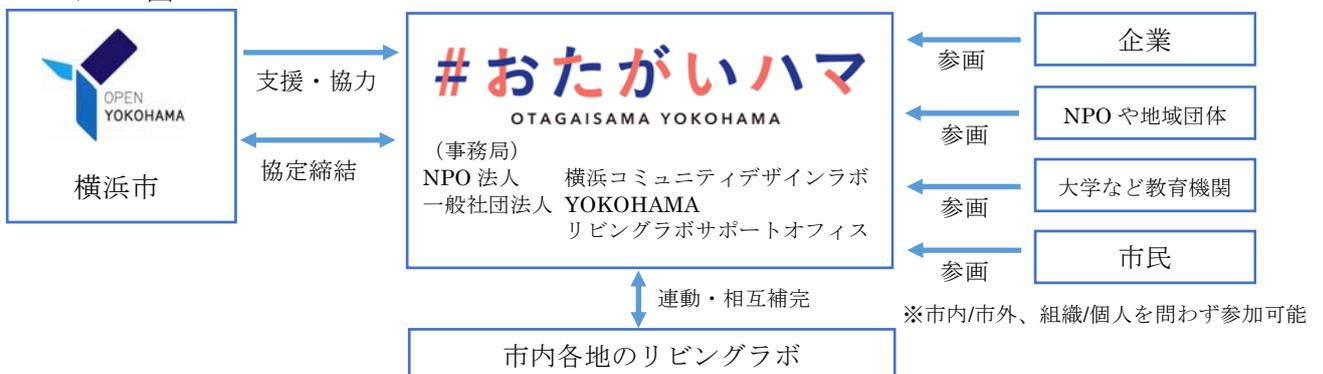
YOKOHAMA ガーゼマスク ships

旭区の緑園リビングラボが中心となり、地域住民・地元商店・特例子会社らが協力しながら手作りのガーゼマスクをつくる新たなプロジェクトです。

4 今後の展開について

- 市内/市外や組織/個人を問わず、本プラットフォームの理念に共感する仲間を広く募り、個人や組織が持つ強みやスキルを活かしながら交流を深め、具体的なアクションの創発を目指していきます。
- 各地域にて活動するリビングラボと連携し、本プラットフォームのブランチャ組織として位置付けることで、より地域に根ざした活動を推進していき、各地域の状況に応じた取組を進めていきます。

<スキーム図>



問合せ先

【連携内容や協定について】 政策局共創推進課長 小池 道子 TEL 045-671-4394
【#おたがいハマについて】 #おたがいハマ 事務局 杉浦 裕樹 TEL 045-664-9009